

と少なくとも不便を来している。

市内の量販店やスーパーでも資源物を始め回収を行っているところがあり、ごみ出しの環境は変わってきている。こうした状況を勘案し、ごみ出し回数やローテーションを見直し、缶・びん類の回数を増やすなど、ごみ出しの利便性を向上させるべきではないか。

**答** 議員ご指摘のとおり市内量販店でも古紙、ペットボトルなどの店頭回収を行う店舗が増えている。こうした状況を踏まえ、それぞれの回収回数に見直しについて利便性に配慮しながら、今後の第二次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しに合わせ検討していく。

◆きょうだいは同じ保育園へ

**問** 入園に際して、現在本市では待機児童0となっている。しかし、通園

の実態を見ると、きょうだい別々の保育園に通わざるを得ないなど、送迎する保護者からすれば大変不合理な状況となっている。

現在、きょうだいで別々の保育園に通わざるを得ない園児は何組で、何名か。また、これらを早急に改善することが必要ではないか。

**答** 本年4月の入園の状況を見ると、きょうだいで別々の保育園に通っている児童は、23組で46人となっている。

毎年度改善を図っているが、今後一層、保護者の要望に答えられるよう改善に努めていく。



元気に遊ぶ園児たち

令和改進黨

質問者  
青柳 充茂  
永井泰仁



持ち時間 90分

地域再生の土台  
地域NPOを  
66区に

◆地域再生は急務

**問** 超高齢化、過疎化が進む周辺地域の将来不安が深刻だ。区など地域の伝統組織自体に担い手が不足しているからだ。

私なら、市内66の全区域に地域住民が運営出来るNPOを設立する。法人化する事で地域貢献を事業化し、事業内容や決算を透明化し、地域の課題を地域で解決するインセンティブにする。

現行の行政懇談会も陳情大会のような場から住民が地域を運営するノウハウを切磋琢磨する場に変えられる。

地域活性化プラットフォームづくりは、市の責



塩尻には二つのインターチェンジがある

任と協力的なリーダーシップでつくりたいと進まないのではないか。

**答** 地域の課題を地域住民自らが解決していくための仕組みづくりが必要。地域活性化プラットフォーム事業を有効的に展開するよう充実させていく。

◆塩尻型ドアツードア送迎システムの創設を

**問** 地域振興バスでは対応しきれない高齢者の要望に応えるには、新たな仕組みが必要だ。地域NPOによる配車サービスを提案したい。行政と議会の合同調査研究会を立ち上げ、新たな制度導入

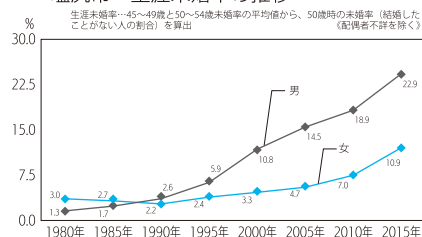
の検討を進めてはどうか。  
**答** 塩尻市地域公共交通網形成計画を策定する中で、多様な市民ニーズに応えられるよう本市の特性や地域性に合った仕組みづくりを検討したい。

◆独身者応援の必要性

**問** 塩尻市生涯未婚率の推移に注目してほしい（グラフ参照）。バブル崩壊後の経済政策で増加した非正規雇用問題などが背景にある。

かつての「独身貴族」とは違い、今の独身者は収入、時間ともゆとりがなく将来不安は測り知れない。

塩尻市・生涯未婚率の推移



バブル崩壊後、増え続ける生涯未婚率